

平成 30 年度富山県立大学大学院工学研究科(博士前期課程)一般選抜学生募集要項

1 募 集 人 員

専 攻	募 集 人 員	
	夏入試	冬入試
機械システム工学専攻	17名	—
知能デザイン工学専攻	17名	—
情報システム工学専攻	17名	—
環 境 工 学 専 攻	8名	4名
生 物 工 学 専 攻	12名	3名
計	71名	7名

2 出 願 資 格

次のいずれかに該当する者

- (1) 大学を卒業した者及び平成 30 年 3 月までに卒業見込みの者
 - (2) 外国において学校教育における 16 年の課程を修了した者及び平成 30 年 3 月までに修了見込みの者
 - (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者及び平成 30 年 3 月までに修了見込みの者
 - (4) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び平成 30 年 3 月までに修了見込みの者
 - (5) 外国の大学その他の外国の学校において、修業年限が 3 年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者及び平成 30 年 3 月までに授与される見込みの者
 - (6) 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
 - (7) 文部科学大臣の指定した者(昭和 28 年文部省告示第 5 号)
 - (8) 学校教育法第 102 条第 2 項の規定により他の大学院に入学した者であって、本研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
 - (9) 学校教育法第 104 条第 4 項の規定により学士の学位を授与された者及び平成 30 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
 - (10) 平成 30 年 3 月 31 日で大学に 3 年以上在学する者であって、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと本研究科において認めた者
 - (11) その他に、大学を卒業した者と同等以上の学力があると、本研究科において認めた者
- ※ 出願資格(8)、(10)又は(11)により出願を希望する者は、事前に出願資格の審査を行う。

3 出 願 手 続

- (1) 出願手続方法

出願書類等を取りまとめて、本学所定の出願書類用封筒に入れ、出願期間内に『書留速達郵便』で郵送すること。

なお、本人が直接持参してもよいが、この場合でも本学所定の出願書類用封筒に入れること。

- (2) 出願期間

機械システム工学専攻 知能デザイン工学専攻 情報システム工学専攻 環 境 工 学 専 攻 生 物 工 学 専 攻	夏入試	平成 29 年 6 月 1 日(木)～7 月 7 日(金)
環 境 工 学 専 攻 生 物 工 学 専 攻	冬入試	平成 29 年 10 月 24 日(火)～11 月 7 日(火)

期間内必着とする。

持参された出願書類の受付時間は、午前 9 時から正午及び午後 1 時から午後 5 時までとする。ただし、土曜日、日曜日及び祝日は受け付けない。

なお、夏入試は、「面接試験」を先に行った上で「筆記試験並びに口述試験又は面接」を免除する場合がある。詳細は別頁の案内(10 ページ)を参照すること。

(3) 出願資格の審査

出願資格(8)、(10)又は(11)により出願を希望する者は、事前に出願資格の審査を行うので、次の必要書類(所定の用紙は出願手続先に請求)を、夏入試については**平成 29 年 5 月 22 日(月)**までに、冬入試については**平成 29 年 10 月 16 日(月)**までに提出すること。

なお、資格審査の結果は申請者あてに通知する。

提出書類等	摘要
① 出願資格認定申請書	(所定の用紙)
② 推薦書	在籍する大学、出身又は在籍する大学院、若しくは所属長が作成し、厳封したもの
③ 成績証明書	ア 出願資格(8)該当者 出身大学及び出身又は在籍する大学院が発行し、厳封したもの (学部及び大学院の成績証明書) 修得科目名及び単位数が記載されたもの イ 出願資格(10)該当者 在籍する大学が発行し、厳封したもの 修得科目名及び単位数が記載されたもの ウ 出願資格(11)該当者 最終出身校が発行し、厳封したもの
④ 在学証明書	出願資格(8)(在学中の者)又は(10)該当者
⑤ 教育課程表	ア 出願資格(8)(在学中の者)該当者 出身学科及び在籍する専攻科の開講科目の講義内容等が詳細に記載されたもの イ 出願資格(10)該当者 在籍する学科等の開講科目の講義内容等が詳細に記載されたもの
⑥ 業績調書	出願資格(8)(在学中でない者)又は(11)該当者 専攻分野に関連する研究業績等について所属長が作成し、厳封したもの (所定の用紙)
⑦ 資格免許証等	出願資格(8)(在学中でない者)又は(11)該当者 専攻分野に関連する各種免許証等、参考となると思われる書類(写)等 (簡単な説明等を付すこと。)

(4) 出願手続先

富山県立大学事務局教務課学生募集係
〒939-0398
富山県射水市黒河5180
TEL 0766-56-7500 (代表)

(5) 出願書類等

出願書類等	摘要
① 入学志願票	(様式-1)
② 卒業(見込)証明書	出身大学の学長又は学部長、若しくは最終出身校の学校長等が発行し、厳封したもの(本学出身者は、提出を要しない。)
③ 成績証明書	出身大学の学長又は学部長、若しくは最終出身校の学校長等が発行し、厳封したもの
④ 受験票・写真票	正面上半身無帽、背景なし、縦4cm×横3cm、出願受付日前3か月以内に単身で撮影した写真の裏面に志望専攻、氏名を記入し、定められた枠内に貼付すること。(様式-3)
⑤ 受験許可書	他大学大学院に在籍中の者は、学長又は研究科長の、官公庁、企業等に在職している者は、所属長の受験許可書又はこれに代わる書類を提出すること。(様式任意)

出 願 書 類 等	摘 要
⑥ 返 信 用 封 筒	<p>受験票の送付に使用するので、志願者の郵便番号、住所及び氏名を明記し、362円切手を貼付すること。</p>
⑦ 入 学 考 査 料	<p>30,000円</p> <p>本学指定の「平成30年度富山県立大学入学検査料振込依頼書^{博士前期試験用}」を使用し、金融機関（ゆうちょ銀行、郵便局を除く。）の窓口で納付すること。</p> <p>納付後、金融機関が発行した「振込受付証明書」に振込受付印が押印されていることを確認の上、「入学検査料納付確認票」（様式-4）に全面をのり付けして出願書類に同封すること。</p>
⑧ TOEIC 又は TOEFL の成績証明書	<p>TOEIC 又は TOEFL の成績の利用を希望する者は TOEIC 又は TOEFL の成績証明書を提出すること。</p> <p>本学の入学者選抜に係る出願期限から過去2年以内に受験した TOEIC L&R（公開テスト）又は TOEFL（PBT、iBT のいずれでも可）の成績を証明する書類（TOEIC は Official Score Certificate、TOEFL は Examinee Score Report）の写しを出願時に提出し、その原本を入学試験当日に受付にて提示すること（確認後返却する）。なお、TOEIC-IP、TOEFL-ITP 等の団体テストの成績は利用できない。</p> <p>（TOEIC 又は TOEFL の成績の利用については、P6 及び P11 を参照）</p>
⑨ 小 論 文 （冬入試の生物工学専攻志願者のみ必要です）	<p>下記の課題について、A4版2枚以内に日本語又は英語で作成し（日本語の場合は1,500～2,000字程度、英語の場合は700～1,000語程度で記入。ワープロでも可）、所定の小論文表紙に英語（150～250語）による要約及び氏名を記入し、小論文とともに綴じること。（様式-7）</p> <p>「今後、取り組みたい研究分野・課題について」 （これまで学修してきたことを含めて記載すること。）</p>
⑩ そ の 他	<p>ア 出願資格(9)により出願を希望する者は、学位授与証明書又は学位記の授与を申請していることの証明書等（様式は問わない；学位が得られないこととなった場合は、速やかに通知する旨の記載があるもの）を提出すること。</p> <p>イ 外国人の志願者は、上記出願書類のほか住民票（市区町村長発行の在留資格が記載されたもの（住民票が発行されない場合は旅券の写し））及び保証書（様式-8）を提出すること。</p> <p>なお、出願書類には、この住民票記載の氏名を用いること。</p> <p>ウ 出願手続後の書類の変更は行わない。</p> <p>エ いったん受理した入学検査料は次の場合を除き、返還しない。</p> <p>①入学検査料を払い込んだが出願しなかった場合（出願が受理されなかった場合を含む）</p> <p>②入学検査料を二重に払い込んだ場合</p> <p><返還請求方法></p> <p>「振込受付証明書」を貼付した入学検査料の返還請求書を本学へ郵送すること。請求書様式は本学ホームページ（http://www.pu-toyama.ac.jp）で確認するか、本学へ問い合わせること。</p> <p>送付先：富山県立大学 問合先：0766-56-7500（代表）</p>

出願書類等	摘要
⑩ その他	<p>オ 障害のある志願者は、受験上及び修学上の配慮を必要とすることがあるので、出願に先立ちあらかじめ申し出ること。 これにより、相談が必要となった場合は、以下による。</p> <p>○相談の期限 <夏入試> 平成 29 年 5 月 22 日（月）まで <冬入試> 平成 29 年 10 月 16 日（月）まで</p> <p>○相談の方法 下記事項を記載した文書（様式は問わない。）及び医師の診断書を提出することとし、必要な場合は、本学において志願者との面談等を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・志望専攻 ・障害の種類、程度 ・受験上の配慮を希望する事項 ・修学上の配慮を希望する事項 ・その他 <p>カ 連絡先 富山県立大学事務局教務課学生募集係 〒 9 3 9 - 0 3 9 8 富山県射水市黒河 5 1 8 0 ☎ 0 7 6 6 - 5 6 - 7 5 0 0（代表）</p>

4 選抜方法及び選抜試験期日

(1) 選抜方法

<夏入試>

試験区分	選抜方法
機械システム工学専攻	学力検査（筆記試験及び口述試験（面接を含む。）の結果並びに成績証明書の内容等を総合判断して行う。
知能デザイン工学専攻	
情報システム工学専攻	
環境工学専攻	学力検査（筆記試験）及び面接（口述試験を含む。）の結果並びに成績証明書の内容等を総合判断して行う。
生物工学専攻	

<冬入試>

試験区分	選抜方法
環境工学専攻	学力検査（口述試験）及び面接の結果並びに成績証明書の内容等を総合判断して行う。
生物工学専攻	学力検査（事前提出の小論文、口述試験）及び面接の結果並びに成績証明書の内容等を総合判断して行う。

(2) 学力検査等の出題及び配点

〈夏入試〉

【機械システム工学専攻、知能デザイン工学専攻、情報システム工学専攻】

試験区分	出題及び配点						
	筆記試験				口述試験	合計	
	外国語	応用数学		配点			
配点	配点	配点	配点	配点			
機械システム工学専攻	英語	200点	【出題範囲】 線形代数 微積分 常微分方程式	200点	専門基礎（機械力学、材料力学、熱力学、流体力学）に関連した内容。面接を含む。	600点	1000点
知能デザイン工学専攻			【出題範囲】 線形代数 微積分 常微分方程式	200点	専門基礎（情報数学、工業力学、電気回路）に関連した内容。面接を含む。	600点	1000点
情報システム工学専攻			【出題範囲】 線形代数 微積分 常微分方程式	200点	専門基礎（電磁気学、電気回路、論理回路、プログラミング、ソフトウェア基礎）に関連した内容。各分野から1問ずつ出題され、3問を選択して解答。面接を含む。	600点	1000点

【環境工学専攻、生物工学専攻】

試験区分	出題及び配点						
	筆記試験				面接		合計
	外国語	専門基礎		配点	配点		
配点	【出題範囲】		配点	配点			
環境工学専攻	200点	「環境水質学」 「環境マネジメント」 「構造力学」 〔各分野から1題ずつ出題され、うち2題を選択し、解答する。〕		200点	専門分野に関連した口述試験を含む。	600点	1000点
生物工学専攻	250点	【出題範囲】 「生化学」 「微生物学」 「有機化学」 「分子生物学」 〔上記の4分野から右記のキーワードに関連する基礎的かつ総合的な問題を出题〕	【キーワード】 「有機化合物（構造、分析、命名、官能基、合成、絶対配置、異性体、求核・求電子反応、スペクトル）」 「遺伝子（構造、変異、分子進化、機能、ゲノム、セントラルドグマ、発現制御、遺伝子操作）」 「タンパク質（構造、機能、酵素、分類、反応速度論、補酵素）」 「細胞（構造、組織、細胞内小器官、膜、エネルギー生産）」 「微生物（分類、進化、研究史、探索方法、増殖、代謝、発酵、有用物質生産）」 「化学平衡」 「自由エネルギー」 「酸化還元」 「酸・塩基」	150点	専攻分野に関連した口述試験を含む。	600点	1000点

○筆記試験<外国語(英語)>への TOEIC/TOEFL スコアの換算について (5 専攻共通)

- ・ TOEIC/TOEFL スコアの提出により、筆記試験<外国語(英語)>の受験に代えることができる。
- ・ TOEIC/TOEFL スコアを提出した上で、筆記試験<外国語(英語)>を受験した場合には、筆記試験<外国語(英語)>の得点と、TOEIC/TOEFL スコアの換算点とのいずれか高い方を得点とする。
- ・ TOEIC/TOEFL スコアについては、次の基準で換算する。

TOEIC スコア	TOEFL(PBT)スコア	TOEFL(iBT)スコア	換算点	
			機械・知能・情報・環境	生物
650 点以上	523 点以上	69 点以上	200 点	250 点
580 点～645 点	500 点～520 点	61 点～68 点	191 点～199 点	238 点～249 点
505 点～575 点	473 点～497 点	52 点～60 点	181 点～190 点	226 点～237 点
465 点～500 点	460 点～470 点	48 点～51 点	151 点～180 点	189 点～225 点
425 点～460 点	447 点～457 点	44 点～47 点	118 点～147 点	147 点～184 点
380 点～420 点	430 点～443 点	39 点～43 点	80 点～113 点	100 点～142 点
380 点未満	430 点未満	39 点未満	換算しない ※筆記試験の得点で判定	

※表に“～”で記載した点数の範囲においては、当該範囲内にて比例換算する。

〈冬入試〉

【環境工学専攻】

試験区分	出題及び配点					面接	合計
	外国語		口述試験		専門基礎		
	配点	配点					
環境工学専攻	英語	200 点	【出題範囲】 「環境水質学」、「環境マネジメント」、「構造力学」に関連した内容。	500 点		300 点	1000 点

【生物学専攻】

試験区分	出題及び配点					面接	合計
	小論文(要約) 外国語(英語)	小論文	口述試験				
			外国語(英語)	専攻分野			
生物学専攻	100 点	100 点	300 点	300 点		200 点	1000 点

○口述試験<外国語(英語)>への TOEIC/TOEFL スコアの換算について (2 専攻共通)

- ・ TOEIC/TOEFL スコアを提出した場合には、口述試験<外国語(英語)>の得点と、TOEIC/TOEFL スコアの換算点とのいずれか高い方を得点とする。
- ・ TOEIC/TOEFL スコアについては、次の基準で換算する。

TOEIC スコア	TOEFL(PBT)スコア	TOEFL(iBT)スコア	換算点	
			環境	生物
650 点以上	523 点以上	69 点以上	200 点	300 点
580 点～645 点	500 点～520 点	61 点～68 点	191 点～199 点	286 点～299 点
505 点～575 点	473 点～497 点	52 点～60 点	181 点～190 点	271 点～285 点
465 点～500 点	460 点～470 点	48 点～51 点	151 点～180 点	227 点～270 点
425 点～460 点	447 点～457 点	44 点～47 点	118 点～147 点	177 点～220 点
380 点～420 点	430 点～443 点	39 点～43 点	80 点～113 点	120 点～170 点
380 点未満	430 点未満	39 点未満	換算しない ※口述試験の得点で判定	

※表に“～”で記載した点数の範囲においては、当該範囲内にて比例換算する。

(3) 選抜試験期日

〈夏入試〉

試験区分	期 日 等			
	平成 29 年 8 月 22 日 (火)			
	外国語	応用数学	専門基礎	口述試験・面接
機械システム工学専攻	9:00～10:00 (60分)	10:40～12:10 (90分)	/	13:30～
知能デザイン工学専攻				
情報システム工学専攻				
環境工学専攻		10:40～12:10 (90分)		
生物工学専攻				

(注1) 学力検査を一部でも受けなかった場合は「失格」とする。なお、筆記試験〈外国語(英語)〉については、TOEIC/TOEFL スコアの提出により、当該試験の受験に代えることができる。

(注2) 筆記試験については、各科目の試験開始後 30 分以内の遅刻に限り受験を認める。ただし、試験時間は延長しない。

(注3) 口述試験及び面接については、集合時刻(別途案内)を厳守すること。遅刻した場合は受験できないことがあるので注意すること。

〈冬入試〉

試験区分	期 日 等	
	平成 29 年 12 月 1 日 (金)	
環境工学専攻	9:00～ 口述試験(面接を含む。)	
生物工学専攻	9:00～ 面接(口述試験を含む。) ・1人30分程度行う。	

(注) 集合時刻(別途案内)を厳守すること。遅刻した場合は受験できないことがあるので注意すること。

5 選抜試験会場

富山県立大学

〒939-0398

富山県射水市黒河5180

6 合格者発表

機械システム工学専攻 知能デザイン工学専攻 情報システム工学専攻 環境工学専攻 生物工学専攻	夏入試	平成 29 年 8 月 30 日 (水) 午前 10 時 (予定)
環境工学専攻 生物工学専攻	冬入試	平成 29 年 12 月 15 日 (金) 午前 10 時 (予定)

富山県立大学本部棟1階正面玄関前に掲示発表するとともに、合格者本人宛に郵便で通知する。また、合格者の受験番号を本学のホームページに掲載する。富山県立大学ホームページのアドレスは(<http://www.pu-toyama.ac.jp>)である。

なお、電話その他の問合せには一切応じない。

7 入学手続

(1) 入学手続方法

入学手続に要する書類等を取りまとめて、入学手続期間内に持参するか、又は封筒に『入学手続書類在中』と朱書の上、『書留速達郵便』で郵送すること。

なお、入学手続期間内に入学手続を完了しない者は、入学を辞退したものとして取り扱う。

(2) 入学手続期間

平成 30 年 3 月 16 日（金）～20 日（火）

持参された書類の受付時間は、午前 9 時から正午及び午後 1 時から午後 5 時までとする。

ただし、土曜日、日曜日及び祝日は受け付けない。

郵送の場合も、期間内必着とする。

(3) 入学手続先

富山県立大学事務局教務課学生募集係

〒939-0398

富山県射水市黒河 5 1 8 0

☎0766-56-7500（代表）

(4) 入学手続に要する書類等

提出書類等	摘要
① 誓約書	(所定の用紙)
② 入学料	ア 金額 282,000円 (富山県の住民の場合 188,000円) イ 納付方法 (ア) 本学指定の「入学金振込依頼書」を使用し、金融機関（ゆうちょ銀行、郵便局を除く。）の窓口で納付すること。 (イ) 納付後、金融機関が発行した「振込受付証明書」に振込受付印が押印されていることを確認の上、入学手続書類に同封すること。
③ 写真 (1枚)	正面上半身無帽、背景なし、縦 3 cm×横 2.4 cm、入学手続日前 3 か月以内に単身で撮影したもの 裏面に専攻、氏名を記入すること。
④ 卒業証明書等	卒業見込みで受験した者のみ必要（本学出身者は提出を要しない） 学校教育法第 104 条第 4 項の規定により学士の学位を授与される見込みで受験した者は、学士の学位を授与されることが確認できる書類もあわせて提出すること。
⑤ 返信用切手	420 円切手
⑥ その他	住民票等 富山県の住民の場合のみ必要

入学料は平成 29 年 4 月現在

(5) 入学手続上の注意事項

① 『富山県の住民』とは、本人又はその者の配偶者若しくは 1 親等の親族が、平成 29 年 4 月 1 日から引き続き富山県内に住所を有する者及びこれに準ずると認められる者をいう。

なお、『富山県の住民』の認定は、住民票等によって行う。

② 入学手続が全て終了した者には、入学許可書を交付する。

③ 既納の入学料は次の場合を除き、返還しない。

ア 入学料を過払いした場合

イ 入学料を二重に払い込んだ場合

<返還請求方法>

「振込受付証明書」を貼付した返還請求書を本学へ郵送すること。請求書様式は本学へ問い合わせること。

送付先：富山県立大学

問合先：0766-56-7500（代表）

④ その他、入学手続の詳細については、別途通知する。

8 入学料・授業料等

(1) 入学料・授業料等

区 分	金 額	備 考
入 学 料	282,000円	
富 山 県 の 住 民	188,000円	
授 業 料	535,800円 (年 額)	初年度の前期分は銀行振込、後期分・次年度からは口座引き落としとなる。 ※本学学生は前期から口座引き落としとなる。
学生教育研究災害傷害保険料	2,430円	2か年分
後 援 会 費	10,000円	2か年分

金額は、いずれも平成 29 年 4 月現在

(2) 奨学金・授業料減免制度

日本学生支援機構及び各種奨学金制度がある。

また、学業成績が優秀で、経済的理由により、授業料の納入が困難であると認められる者等については、授業料の全額又は半額を免除する制度がある。

9 そ の 他

- (1) 提出する書類は黒インク又は黒のボールペンを用い、文字は楷書で、数字は算用数字で記入すること。
- (2) 様式の※印欄は何も記入しないこと。
- (3) ミシン目は切り離さないこと。
- (4) 提出された書類の変更及び返還並びに納入された納付金の返還は行わない。
- (5) 入学許可を受けた者が、大学を卒業できなかった場合、外国において学校教育における 16 年の課程を修了できなかった場合及び学士の学位取得見込み者が学位授与機構より学士の学位を授与されなかった場合は、入学を取り消す。
- (6) 入学許可後であっても、出願手続又は受験に不正があったと認められたときは、入学を取り消すことがある。
- (7) 受験票は、出願書類等を受理した後速やかに本人宛に送付するが、選抜試験期日前日になっても受験票が到着しない場合及び選抜試験期日前に受験票を紛失した場合は、富山県立大学事務局教務課学生募集係へ連絡すること。
- (8) 学生募集要項の郵送を希望する者は、郵便番号、住所及び氏名を明記し、400 円切手を貼付した返信用封筒〔角型 2 号(332 mm×240 mm)〕を同封し、富山県立大学事務局教務課学生募集係宛に『工学研究科（博士前期課程）学生募集要項請求』と朱書して請求すること。
- (9) 志願者から提出された出願書類に記載されている氏名、住所等の個人情報については、本学の入学者選抜の目的以外で利用することや、第三者に提供することはない。

「面接試験」案内

1 趣 旨

各専攻では、専門分野の高度化、多様化に伴い広く人材を求めめるために、一般選抜の学力検査において「面接試験」のみによる選抜を実施し、本学が認めた者には「筆記試験並びに口述試験又は面接」を免除する。

2 出願の対象となる者

次の全てに該当し、事前の書類選考で成績優秀と認められた者のみが受験できる。

- (1) 大学を平成 30 年 3 月に卒業見込みの者又は学校教育法第 104 条第 4 項の規定により学士の学位を平成 30 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
- (2) 学業成績及び人物ともに優れた者
- (3) 合格した場合、入学を確約できる者（出願時に入学確約書の提出を要す）

※機械システム工学専攻、知能デザイン工学専攻、情報システム工学専攻及び環境工学専攻にあつては、外国において学校教育における 16 年の課程を平成 30 年 3 月までに修了見込みの者で、本学との『単位互換に基づく学生交流に関する協定書』に基づく特別聴講学生として入学を許可され、所定の単位を取得見込みの者についても、(1) に該当する者として取り扱う。

※「学業成績及び人物ともに優れた者」に該当するか否かについては、本学大学院のアドミッションポリシーで求める専門分野を学修しており、かつ所属学科内での成績順位が上位 1/2 以内である者を対象として審査する。

専門分野の学修内容並びに所属学科内での成績順位については、成績証明書により判定する。ただし TOEIC/TOEFL のスコアを提出した者については、所属学科内での成績順位の判定に係る外国語科目（英語）の成績の評価において、TOEIC/TOEFL スコアを換算した点数が成績証明書における外国語科目（英語）の成績を上回っている場合、同スコアの換算点を外国語科目（英語）の成績とみなす。

※「面接試験」の受験資格の有無については、平成 29 年 6 月 13 日（火）付の郵便で受験票とあわせて本人宛に通知する。受験資格を有しない旨通知を受けた者は、「筆記試験並びに口述試験又は面接」は免除とならない。

3 出願手続

(1) 出願手続方法

出願書類等を取りまとめて、本学所定の出願書類用封筒に入れ、所定の出願期間内に『書留速達郵便』で郵送すること。

なお、本人が直接持参してもよいが、この場合でも本学所定の出願書類用封筒に入れること。

(2) 出願期間

平成 29 年 6 月 1 日（木）～6 日（火）（期間内必着とする。）

持参された出願書類の受付時間は、午前 9 時から正午及び午後 1 時から午後 5 時までとする。ただし、土曜日、日曜日及び祝日は受け付けない。

(3) 出願手続先

富山県立大学事務局教務課学生募集係
〒939-0398
富山県射水市黒河5180
TEL 0766-56-7500（代表）

(4) 出願書類等

2 ページの一般選抜の出願書類等とともに、下記の書類を一括して提出すること。

※ 自己推薦書（様式-5）…志願理由、入学後に希望する研究テーマ等を 400 字程度でまとめたもの

※ 入学確約書（様式-6）

4 選抜方法及び選抜試験期日等

(1) 選抜方法

面接試験の結果並びに成績証明書の内容等を総合判断して行う。

(2) 配点

試験区分	面接試験	成績証明書	合計
機械システム工学専攻	300点	700点	1000点
知能デザイン工学専攻	400点	600点	1000点
情報システム工学専攻	400点	600点	1000点
環境工学専攻	300点	700点	1000点
生物工学専攻	300点	700点	1000点

※TOEIC/TOEFLのスコアを提出した者については、同スコアを換算した点数と、成績証明書における外国語科目（英語）の成績とのいずれか高い方を採用する。

(3) 選抜試験期日

平成 29 年 7 月 3 日(月) 13:30～

(4) 選抜試験会場

富山県立大学

〒939-0398

富山県射水市黒河5180

5 注意事項

(1) 本学が必要とした場合、証明書又はその他必要な書類等の提出を求めることがある。

(2) 試験の結果による「筆記試験並びに口述試験又は面接」の免除の可否は、平成 29 年 7 月 7 日（金）付の郵便で本人宛に通知する。

なお、「筆記試験並びに口述試験又は面接」の免除の対象とならなかった者は、「筆記試験並びに口述試験又は面接」を受験すること。